

事に着手

- ・佐田中学校改築のための基本計画を策定

- ・北陽小学校校舎増築の実施設計に着手
- ・I s 値0.3未満の学校施設の耐震補強設計を推進

- ・学校施設整備や耐震補強工事の計画的実施のための「学校施設整備・耐震化基本計画」を策定

○青少年育成施策

- ・子ども・若者の就業や修学に向けた相談・支援の総合窓口として、「出雲市子ども・若者支援センター（仮称）」を設置

○生涯学習

- ・各分野における生涯学習講座を整理し、より実効性のある生涯学習推進体制を整備

○文化財行政

- ・調査・研究成果の公開展示や市民の歴史学習の場として「出雲弥生の森博物館」の更なる活用を推進

- ・国宝出雲大社本殿等の保存修理事業、横見埋没林の整備事業、鰐淵寺の歴史環境総合調査を実施

○文化・スポーツの充実

- ・「出雲市芸術文化振興指針」に基づき、出雲総合芸術文化祭をはじめとする芸術文化施策を総合的に推進

- ・「出雲市スポーツ振興基本計画」に基づき、出雲全日本大学選抜駅伝競走など各種大会の開催及び誘致、選手・指導者育成システムの強化などを推進

○国際交流

- ・アメリカ・サンタクララ市との姉妹都市提携25周年、中国・漢中市との友好都市提携20周年を記念し、各都市への表敬訪問を実施
- ・中国・漢中市との周年記念事業として、国宝・石門十三品の拓本展示等の文化交流事業を開催

○男女共同参画の推進

- ・「ワーク・ライフ・バランスの推進」と「女性への暴力防止と被害者への支援」を重点的に推進

○コミュニティ活動の促進

- ・四絡コミュニティセンター移転改築用地の取得を進め、埋蔵文化財調査に着手
- ・佐田支所内に須佐コミュニティセンターを整備
- ・集落支援員を中心とした住民同士による話し合いの促進・活性化策の検討
- ・地域の共同作業を支援する集落応援隊の拡充

- ・佐田・多伎地域へ除雪機を配備し、高齢者世帯や独居世帯の除雪を行うなど、地域の相互扶助活動を支援
- ・自治協会等と連携し、マンション・アパート等の町内会（自治会）加入促進を重点的に実施

○定住支援

- ・総合的な情報提供や出身者会との連携、各種制度・事業の継続による定住促進
- ・佐田・多伎地域の空き家を定住希望者向けの住宅として整備する定住促進空き家活用事業を実施

- ・「新しい出雲市」が誕生します。この合併が、単に二つの自治体の足し算に終わることなく、互いの持つ地域力が相乗効果によってさらに大きく飛躍する「新しい出雲市」を創

- ・「新しい出雲市」が誕生します。この合併が、単に二つの自治体の足し算に終わることなく、互いの持つ地域力が相乗効果によってさらに大きく飛躍する「新しい出雲市」を創

- ・「新しい出雲市」が誕生します。この合併が、単に二つの自治体の足し算に終わることなく、互いの持つ地域力が相乗効果によってさらに大きく飛躍する「新しい出雲市」を創

- ・「新しい出雲市」が誕生します。この合併が、単に二つの自治体の足し算に終わることなく、互いの持つ地域力が相乗効果によってさらに大きく飛躍する「新しい出雲市」を創

主要施策
主要事業

⑥ 健康文化都市の創造

○医療体制の充実

- ・総合医療センター・ひらた健康福祉センターの新年度末整備完了をめざして事業を推進
- ・ひらた健康福祉センターにおいて、7月から障がい者福祉サービスを開始
- ・がんの予防、がん医療水準の向上のため、PET-CTに係る個人負担を軽減

- ・平成24年度から地方公営企業法全部適用の病院として、総合医療センターの運営形態を一新

○生涯にわたる健康づくり

- ・感染症対策として、公費負担による子宮頸がん予防（HPV）ワクチンなど

- ・障がい福祉サービスの方向性、指針となる「第3期障がい福祉計画」を策定
- ・買い物弱者や孤立化などに対する支援策や介護サービス基盤の整備方針等を定める「第5期出雲市高齢者福祉計画 介護保険事業計画」を策定

の接種事業や抗体検査などを継続実施

・関係団体との連携を強化し、自殺予防に取り組みとともに、虐待防止等に向けた産後うつ対策を実施

・ヘリカルCT肺がん検診等がん検診の普及によるがん対策の実施

・次期「出雲市食育のまちづくり推進計画」を策定

・障がい福祉サービスの方向性、指針となる「第3期障がい福祉計画」を策定

・買い物弱者や孤立化などに対する支援策や介護サービス基盤の整備方針等を定める「第5期出雲市高齢者福祉計画 介護保険事業計画」を策定

終わりになりますが、私は、任期半ばを折り返すこととなります。昨年の年頭に、「市民の皆様とともに自信と誇りの持てる新たな出雲市を創る」との決意を込めて、「創」の一字にその思いを託したところであります。本年10月1日には、長年の願いでありました斐川町との合併が実現し、「新しい出雲市」が誕生します。この合併が、単に二つの自治体の足し算に終わることなく、互いの持つ地域力が相乗効果によってさらに大きく飛躍する「新しい出雲市」を創

りあげるため、引き続き、新市発展のため全力を尽くしてまいります。そのうえで、時代の潮流を的確に読んで、良いものは残し、改革すべきものは見直し、新たに力を注ぐべきものには力を注ぎ、メリハリを付けて市政運営の舵取りを行ってまいります。そして、出雲市のすべての市民が自信と誇りを持てる「五つ星の出雲市」の実現に邁進していくことをお誓い申し上げて、新年度の施政方針といたします。

「ゼロベース評価委員会」 評価結果に対する 今後の市の対応方針を決定しました

市は、すべての事業をゼロベースで見直す取組の一環として、昨年10月2日(土)、3日(日)の両日、外部の視点を取り入れたゼロベース評価委員会(事業仕分け)を実施しました。その評価結果を受けて、それぞれの事業について、今後の市の対応方針を次のとおり決定しましたので、お知らせします。

■評価対象事業(32事業)

事業名	H23年度対応方針	事業名	H23年度対応方針
住宅リフォーム助成事業	経済対策を目的とした事業として再構築し、当分の間継続	私立認可保育所等運営費補助事業	定額補助から看護師の配置等に対する事業費補助に改正
温泉送迎バス運行事業	市のバス事業全体のあり方を検討する中で今後の存廃を判断	第3子以降保育料無料化事業	当面は現行どおりとし、将来的には所得制限等を検討
出雲スポーツアカデミー開催事業	市の直接事業としては廃止し、体協等への事業支援に切替	住民参加型地域健康福祉事業	実態調査を踏まえたサロン事業への移行等を検討
リサイクル団体回収補助金	リサイクルステーションのない地域の回収を目的として事業を再構築し、当分の間継続	高齢者配食サービス事業	効率化による事業費の縮減及び個人負担の見直しの検討を継続
生ごみ処理機器設置補助	平成22年度限りで事業廃止	住民基本台帳ネットワーク推進事業	証明書自動交付機の配置先及び設置台数の検討を継続
商店街活性化イベント開催補助	地域の賑わい創出を目的として事業を再構築	スクールヘルパー事業 幼稚園ヘルパー事業	配置基準の明確化などの事業見直し・検討を実施
地域イベント支援交付金事業	支援が必要なイベントの精査や補助要綱等の整備を実施	奨学事業	選考基準における所得上限額を設定
出雲結婚相談所運営費補助	今後の運営方針等の検討を継続	放課後子ども教室推進事業	教材、保険料等を除き、原則、負担金は徴収しない
ふれあい施設等管理費	将来的な方向性に関する関係機関との協議を継続	出雲科学アカデミー事業	科学技術の普及、啓発に関する講座等に限定して実施
樹医センター運営事業	民間への事業移行に向けて検討を継続	出雲総合芸術文化祭開催事業	事業規模の縮小等を実施し、出雲にあった芸術文化振興事業に再構築
温水利用施設管理費	H24年度を目途に検討組織を立ち上げ、総合的な視点から施設のあり方等を検討	出雲芸術アカデミー運営事業	市の関わり方、事業内容の見直し等の検討を継続
産業フェア支援事業	民間への段階的移行に向けて検討を継続	環境アンテナショップ設置事業	民間への事業移行の方向で検討を継続
国際友好都市等交流事業 国際交流活動補助事業	友好都市等との交流は周年事業に限定し、高校生海外体験事業は民間移行を検討	出雲神話まつり負担金	開催形態について、「神話まつり振興会」で検討を継続
情報PR活動強化事業	新聞による広報経費の縮減及び広報に関する意識調査の実施	コンベンション開催支援事業	補助金算定方式の見直しなどのほか、合宿を補助対象に追加
コミュニティセンター管理運営委託	土日・祝日は原則貸館対応とし、コミュニティセンター業務のあり方については検討を継続	合併処理浄化槽維持管理補助事業	H23年度は現行どおりとし、H24年度から補助金額を引き下げ
障がい者福祉タクシー事業	年間利用実態を踏まえ、事業見直しを検討	下水道受益者負担金前納報奨金交付事業	H23～24年度は現行どおりとし、H25年度から段階的に報奨金交付率を引き下げ

※詳細は市ホームページに公開しています。

おたすね：行政改革推進課 TEL 21-6265